



店舗・販売

物語コーポレーション 人形町 源の屋様

事業内容 焼肉店

導入目的 本部とのやり取りに必要な各種帳票類の出力、店舗で使用するPOPの出力

導入概要 2017年よりMFC-L9570CDW(カラーレーザー複合機)を導入

人形町 源の屋様は、直営による経営とフランチャイズを全国展開する「物語コーポレーション」の新業態。グループ初の都心型小規模店舗フォーマットの焼肉店として2016年に開業。2017年には炭火七輪をテーブルに置く昭和レトロなデザインにリニューアルしています。

●開業/2016年(2017年3月リニューアル) ●所在地/東京都中央区日本橋人形町1-4-13 重本ビル 1F ●URL/http://www.gennoya.jp/



本部とのやり取りで大量の帳票を出力。
プリントスピードと低ランニングコスト、
迷わず使える操作性の良さに驚いています。



人形町 源の屋 | 店長 | 國分淳志 様

当店はグループの中でも新業態の店舗。2016年にオープンしたのですが当初はなかなか軌道に乗り切れず、私は2017年に店を引き継ぐ形で店長に就任し、店舗のリニューアルを任せられました。その中で大きな課題意識を持って取り組んだのが、バックヤード業務の効率化。それまでは家庭用インクジェットプリンターとファクス機を併用していましたが、今回ブラザーのカラーレーザー複合機を導入することで、業務効率の向上と経費削減を実現しました。



起動も印刷も速い
高速印刷

MFC-L9570CDWは、カラー/モノクロ約31枚/分の高速印刷(A4・標準給紙トレイ)。当店では、グループ本部とのやり取りをするための帳票類やスタッフのシフト表など月間500~1,000枚もの書類をプリントアウトするので、大量の帳票類の出力をスムーズに行えるカラーレーザー複合機は非常に重宝しています。また、インクジェットと違い水で印刷物が滲まないため、厨房などの水回りで印刷物を扱う際にも安心です。



経費削減に貢献
低ランニングコスト

モノクロ約2.5円/枚、カラー約15.3円/枚と低ランニングコスト。出力機会が多い帳票類も気兼ねなく出力できます。消耗品の交換や給紙の手間も少ないのでインク切れや紙切れを心配することはありません。導入コストだけを見ればインクジェットプリンターのほうが安いですが、業務用として毎日長時間使うことを考えるとレーザー複合機の方が圧倒的にローコストだと思います。

カラー複合機/プリンター

カラー
約15.3円/枚
モノクロ
約2.5円/枚

直感的に使える
大型タッチパネル液晶

7インチの大型タッチパネル液晶で、誰でも直感的に作業を進められるところもMFC-L9570CDWの魅力のひとつ。アルバイトスタッフでもすぐに操作に慣れることができるので、これまで店長や社員がやっていた作業を別のスタッフに任せられるようになりました。また、印刷する必要のないファクスは画面で確認すれば済むので、無駄がありません。使い勝手の良さがバックヤード業務の効率化につながっています。



だから私は

ブラザーを使っています！



MFC-L9570CDW

ブラザーのフラッグシップ・カラー複合機。A4までのカラー/モノクロプリント・コピー・スキャンとファクス送受信に対応し、帳票類やメニューも低コストで印刷可能。また、コート紙や厚紙の印刷にも標準対応しているため、メニュー変更や日替わりPOPが必要になった際にも機敏に対応できる。対応用紙に関してはカタログをご覧ください。